

2025 年 12 月 2 日

千歳線島松駅における信号システムの条件設定に関する不備について

2025 年 10 月 5 日に東急電鉄田園都市線で発生した信号システムの条件設定不備による列車衝突事故を受けて、北海道運輸局から同種箇所の緊急点検の指示がありました。当社では設定図面上における確認を行い、その後、追加的に現地調査を行っておりますが、千歳線島松駅において信号システムの条件設定に不備が見つかりましたので、お知らせします。

1. 概要

信号システムでは列車が分岐器付近の予期しない箇所で停車した際、接触する可能性のある列車に停止信号を出すよう、条件設定等を行っております。島松駅について設定図面上での確認を実施済ですが、車両同士が接触する可能性がある分岐器付近において測定等の現地調査を行ったところ不備が見つかりました。(別紙 1)

2. 調査結果を踏まえて実施している対応

- ・島松駅について、通常の列車運行時には安全が担保されていることを確認しています。
- ・分岐器付近で列車が停止した際など異常時においては、当該列車が安全な位置に移動してから関係列車を走行させる取扱いとしており、列車運行の安全に支障はありません。
- ・島松駅の信号システムを 2025 年 12 月末までに改修予定です。

3. 調査の進捗状況

2025 年 11 月 7 日までに当社の対象箇所全駅について、設定図面上での確認を完了しました。その後、現地設備の調査に着手しており 11 月 30 日までに 40 駅の調査を完了しています。

調査対象箇所 : 243 駅 (新幹線 5 駅、在来線約 238 駅)
※信号場を含み、営業列車に影響のない範囲を除く
現地設備の調査完了駅 : 40 駅 (新幹線 5 駅、及び在来線 35 駅)
不備を確認した駅 : 在来線 1 駅 (千歳線 島松駅)

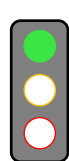
4. 今後について

在来線の残り 203 駅について、現地設備の確認を 2026 年度上半期までに実施予定です。同様の箇所を確認した場合は、速やかに措置を講じます。

信号システムの条件設定

(別紙 1)

正しい条件設定



進行（青）信号

車両同士が接触する可能性があるエリアを進出した後に分岐器が転換可能となり、関係信号機を進行（青）に設定できる

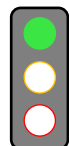
凡例：— 軌道回路の境界
(列車在線検知の境界)

車両が軌道回路の境界を通過した後に、関係分岐器が転換可能となる。

関係分岐器

車両同士が接触する可能性があるエリア

誤った条件設定



進行（青）信号

車両同士が接触する可能性があるエリアを進出する前に分岐器が転換可能となり、関係信号機が進行（青）に設定できる

停車すると接触の可能性があるエリアを車両が進出するまで、関係分岐器を転換できないよう条件設定を変更

車両が軌道回路の境界を通過した後に、関係分岐器が転換可能になる

関係分岐器

車両同士が接触する可能性があるエリア

分岐器付近に予期せず停車した場合
※通常は停止することはありません